



ひおき市議会だより

No. 55

2019年2月

ざかいのとびら



ラン 輪 笑
~RUN 伴 十 笑顔の輪~

12月定例会 主な内容

平成31年2月 第55号

- **いよいよ小・中学校のエアコン整備へ！（12月補正予算設計費）** … P 2
- 11人が明日の市政を議論！（議員の一般質問） … P 4
- 市民の願い・陳情のゆくえ（陳情の審査状況） … P 13
- 貴重な意見・市政へ提言（市民と議会の語る会） … P 14
- 調査事項どう反映させる（委員会の所管調査） … P 15

上の浜帆の港線 災害復旧工事費 1651万円



2年前の災害による日吉帆の港地域の
大川橋工事費の不足分

日吉運動公園管理運営費 49万円



公園内の一部の土地を借用していたが、
今回、購入するための費用

12月
補正予算

~いよいよ学校へ エアコン整備を~ ~5億7355万円を追加し、総額287億5272万円~

まちづくり応援寄附金 50万円



西本町自治会のバス停に設置される
予定の同タイプの屋根付き停留所

市内全小・中学校 空調設備設計費 2065万円



全小中学校の普通教室・特別支援教室に
エアコンを設置するための設計費

障がい児通所給付費 8492万円

障がい者支援給付費 1億2457万円

ふるさと納税推進事業費 8600万円

地区公民館光熱水費 138万円

日置市ふるさと応援寄附金 寄附申込書

日置市長 様 平成 年 月 日

ご住所 〒 郵便 市区 町

お名前

電話番号

日中連絡先

【1】寄附金額

円

【2】希望する寄附金の用途（いずれか1つに○印を記入してください）

① 環境の保護及び整備	② 保健、医療及び福祉の増進
③ 観光及び産業経済の振興	④ 教育、文化及びスポーツの振興
⑤ 市民との協働によるまちづくりの推進	⑥ 市におまかせ

※記載がない場合は、上記各に連関させていただきます。

ふるさと納税好評のため返礼品
及び委託料・報償費等の増額



全地区公民館の光熱水費不足の費用

◆ 一般会計 反対討論

市長・副市長・教育長及び市議会議員の期末手当の引き上げについて、市民の理解が得られないと考える。市民の中には、生活がますます厳しい状況にある人もいるため、反対。 ※賛成討論なし

◆ 主な質疑

問 特別教室へのエアコン設置の考えは。

答 今回の補助要件に該当しないため、当面は扇風機等に対応。

問 ふるさと納税推進事業費の内訳は。

答 返礼品申し込み増に伴うインターネットサイト管理委託料などである。

問 日吉運動公園は、なぜ、今回の土地購入となったのか。

答 今までは、建設課で賃貸契約していたが、今回、持ち主が売却したいとの意向で、市が購入することとなった。

◆ 一般会計・特別会計(補正予算)賛否表

(予算額は、1万円未満切り捨て)

会計名	補正予算額	賛否表 (並松議員は議長のため、表決には参加しない)																結果						
		桃北	佐多	是枝	富迫	重留	福元	山口	山樹	中村	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	西園	門松		坂口	大園	漆島	田畑	池満	並松
一般会計	5億7355万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険	7930万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公共下水道事業	59万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業集落排水事業	4万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民宿舎事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
健康交流館事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
温泉給湯事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険	△702万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療	1万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業会計・収益的支出	95万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業会・資本的支出	64万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

一般質問

明日を論戦

「より良い市政を目指し、11人が登壇」



黒田 澄子 議員

質問1 切れ目のない産後ケア等の相談窓口はどこか

市長 上の子どもも宿泊できるが、平日は幼稚園や保育園に通う事が前提となる。幼稚園の場合は、日曜日の通園が不可能であるため、上の子どもを預ける手立てがなく、産後ケア事業が利用できない事例がある。市は、この事をどう考え、支援するのか。

質問2 森林環境護与税等による森林保全はどのようになるか

答弁2 今後は市が経営管理権を設定し、保全に努める

黒田 国は平成31年度、仮称森林環境護与税制度を創設し、また、平成36年度より

市長 本市への交付額は31年度から3年間は年間約1200万円、34年度以降は年間約1800万円、37年度以降は年間約2500万円が、県の試算と聞いている。整備の必要な森林の把握、所有者への意向調査を行い、林道や作業路網の整備、航空レーザ測量等や、また基金創設も可能となる。整備の必要な森林の把握や所有者の意向調査、森林管理システムの整備を予定、森林の寄付を受けられるようにはなっているが、本市としては考えていない。所有者不明の森林も市に経営管理権を設定できる。

林業者は平成22年〜27年の5年間で56人から43人へ2割減少、今後支援を検討。

その他の質問
・未婚のひとり親への差別解消の法改正
・利用しやすい特認校制度

黒田 第2子以降の出産で産後ケア事業を利用する

答弁1 子育て世代包括支援センターを来年度に設置予定

市長 上の子どもがいる場合に課題がある。支援する仕組みとして、子育て世代包括支援センターの設置を検討していく。サポートとして、社会福祉協議会やシルバー人材センターでの女性の登録にも、何らかの策に取り組みたい。

り国税として、年額1世帯千円の仮称森林環境税も予定している。本市への交付額の予想と計画及び効果をどう考えるか。また、所有者不明の森林等に対する対策はどうか。対応する林業者の体制は万全か。

今後は、地域単位で取り組む時期に来ている。従って、地域づくり関連予算は、制度を変えて支所に財源と権限を移すべきと考えるが、見解を伺う。



日置市内の森林



漆島 政人 議員

質問1 将来を見据えた行財政改革について問う

答弁1 引き続き自主財源の確保に取り組む

漆島 合併推進の目玉であった合併特例債の発行や、地方交付税の優遇措置は、あと2年で終わる。それに伴い基金や普通交付税、有利な起債枠は減り、

歳入環境は厳しくなる。一方、老朽化による公共施設管理費や高齢化進行による福祉関連予算は、今後増大し、歳出は膨れていく。従って、新たな財源確保も含め、日置市の将来を見据えた行財政改革が急務となっているが、今後の取り組み方針を問う。

市長 歳入は、合併算定替期間の終了や人口減少に伴い、普通交付税や市税の減少が予想される。一方、歳出は、社会保障費や公共施設の維持管理費の増加等が予想される。新たな財源確保については、使用料の見直しやふるさと納税の推進など、引き

質問2 周辺部対策について問う

答弁2 地域づくり推進事業を核として取り組む

漆島 中心部から遠く離れた周辺部においては、過疎高齢化が著しい状況にある。

このままだと、国保・介護・環境対策など、さまざま分野で支障が出てくる。現在、各地区館を対象に地域づくり推進事業がある。しかし、制度的に地域全体が活気づく要素は低い。

今後は、地域単位で取り組む時期に来ている。従って、地域づくり関連予算は、制度を変えて支所に財源と権限を移すべきと考えるが、見解を伺う。



70歳前後が主力の地域の奉仕作業



池満 一渉 議員

質問 1
本市水道事業の将来は大丈夫か

【答弁1】 これからも安心して安全な水の供給を図る

池満 耐用年数を過ぎた施設の割合と、それらの更新費用の見込み額は、将来に向けた現在の取り

組みはどうか。水道法の改正で、参考になる内容・自治体があるか。設備の老朽化・人口減少の現状など、市民への実情の周知が必要だが、水道の供給単価は、1トンで138円、家庭の平均使用量は1日1トン。料金の適正化も含めての議論も必要だが。

市長 耐用年数経過設備は、取水・配水池等で約11%、配水管等で約18%、約40年で834億円が必要と試算。機能診断により長寿命化を図り、新水道ビジョンの策定を予定。広域化・民間委託などが

質問 2
地域情報化計画とデータ活用の現状は

【答弁2】 計画的に整備し、更にデータを活かす

池満 永吉・中川の光通信未整備地区の今後の計画は。日吉地域は、国の補助金なしで整備したが、補助金

が見込めない場合でも整備できるか。市内の多くの祭り・イベント等は、従来のままで良いのか検証も必要である。少子高齢化・財源も厳しい中、的を得た政策の実現にあらゆるデータの活用は欠かせないが。

市長 32年度から33年度に、両地区の光通信環境を整備。日吉地域は過疎債を充当したが、補助なしの場合でも合併特例債を充て整備したい。類似するイベントもあり、来場者数・その内容なども含め、統合や合併も検討。次期総合戦略などの策定



長く使いたいみんなの水道

にも、これまで以上にあらゆるデータを活用し、作業を進める。



西園 典子 議員

質問 1
人口減・少子化対策に妊婦加算は逆行では

【答弁1】 妊婦の安全で丁寧な診療へ体制が整った

西園 今後、限界地域や限界自治体を心配するが、本市の出生動向をどう分析す

るか。本県は、全国で3番目に所得が低く、子育て世代は非正規も多く、生活にゆとりがない。子どもの未来を応援する首長連合に加盟しているが、目的や成果は何か。妊娠中の女性が外来診療を受けると、妊婦加算が4

月から追加されている。14枚の妊婦健診無料券の配布が始まって10年程度、未だに妊娠・出産は、原則個人負担である。皆保険時代に、妊婦は長く放置され、健診をためらう時もあり、「子育てには金がかかる」という思いが定着し、人口減の一因にも

なったのではないか。人口増・子育て支援に取り組んでいる、本市の取り組みに逆行しないか。連合会でも議論し、国へ提言すべきではないか。

市長 人口減少に対し、有効な対策が見当たらない。若い世代も生活が苦しく、

質問 2
見えにくい子ども虐待の対策や考え方は

【答弁2】 どんな環境でも同じように学べる場を

西園 虐待の現状や発見状況、認定基準はどうか。

改善のための情報共有とプライバシー保護との関連や、今後の方策は。

市長 虐待は、暴力・放棄などさまざまな要因が絡み表面化まで時間がかかるため、厚生労働省の手引きに基づいて、調査や診断を行い、検討評価のうえ認定。



子育てに関する相談窓口の一元化を

来年度、子育て世代包括支援センターで、子育てに関する窓口の一元化を目指し、より充実させたい。どんな環境であっても、どの子も同じように学び、育つようにするのが責務である。



桃北 勇一 議員

質問 1
在留外国人の自治会加入状況は

【答弁1】 一定の加入があり自治会活動に参加を

桃北 15〜64歳までの生産年齢人口は人口減少より速いスピードで減り続ける。国は外国人労働者を受け入れる方向で進んでいるが、

それに伴うさまざまな問題は自治会に直結している。自治会が直面する自治会への加入状況と加入しない理由は何か。

市長 自治会への加入状況について市全体の把握はできていない。10人以上の在留外国人がいる自治会への聞き取り調査を行った結果、加入率は75%程度である。自治会への加入については、各事業所の関係性や自治会への理解が必要である。市が直接事業所へ伺っての調査は行っていないが、自治会長が事業所を訪問し理解して頂く活動をされていることは認識している。

質問 2
人口減少等の諸問題の転換期への対応は

【答弁2】 2030年が一つの区切り

桃北 労働者不足に伴う在留外国人増加問題、高齢化に伴う包括ケアシステムの問題、出産可能な女性人口の減少に伴う出生数の減少問題。取り組むべきは人口が少なくなっても社会が混乱しないまちづくりである。計画的なまちづくりの縮小に取り組むべきではないか。

市長 2020年・2030年が一つの区切りだと思っている。恐らく経済構造においても、体験したことのない構造になってくる。身の丈に合った財政運営に努めなければ、経済活動も鈍くなる。公共施設の在り方も今後十分精査していく。

その他の質問
・介護離職問題
・若者の結婚問題
・義務教育学校について
・地域包括ケアの実効性について



自治会活動に参加するベトナムの女性達



是枝 みゆき 議員

質問1 子ども・若者支援センターを設置しないか

【答弁1】 実情をふまえて研究してみよう

是枝 引きこもりが、社会問題となっているが、本市では18歳以上の相談はどのように受けているか。困難を有する若者のた

めに、SNS等での相談や、総合的に相談できるワンストップの窓口の整備をし、若者支援センターの設置を提案するかどうか。

市長 専門的に取り扱う窓口は設置しておらず、福祉課・健康保険課などそれぞれの窓口で、相談員・ケアマネージャー・保健師等が対応している。

子ども支援センターで引き続き対応し、連携しているケースもある。

SNS等は、匿名の相談に対応するためには、有効ではないかと考える。

若者支援は、相談体制のあり方など、子ども支援センターの領域を超えた対応が必要になることから、実

情を踏まえて研究していきたい。居場所づくりを地域の中で取り組めたらと考える。

質問2 本市の外国人住民との共生をどう考えるか

【答弁2】 地域との相互理解と交流の促進が必要

是枝 外国人住民の現状は。

日常生活や交通ルールの情報提供をもっと充実し、現状に添った多言語化をすべきだと考えるが。

自治会など地域と共生するために市としてはどのような手立てを考えているか。学校教育の国際教育では、

どのような人材育成を考えているか。

市長 外国人住民は、平成30年11月現在、21カ国268人で、最も多いのがベトナム人の128人。

外国人生活ガイドブックは現在5カ国語で対応し、ホームページは7カ国語に対応しているが、新たな国の翻訳も必要になってくる

と考える。ごみの分別や交通ルールの情報は、自治会での直接指導や行事への参加の呼びかけを工夫したい。

学校教育では、国際的視野に立ち、主体的に行動できる態度や能力を、活動全体を通して育てたい。



山口 初美 議員

質問1 公立幼稚園の存続を望む声に応えよ

【答弁1】 3才児保育は施設の状況に課題がある

山口 公立4幼稚園ごとの来年度の入園申し込み状況

況はどうか。

急激に少子化が進み、このままでは公立幼稚園がなくなる危機感がある。

存続のため3年保育を望む声があるがどうか。

日吉の義務教育学校は、幼・小・中一貫を目指さないか。全国でもめずらしい異年

齢交流のすばらしいモデル校として注目されると考えるがどうか。

統廃合を検討する基準の15人は、各地域の出生数等からして適当ではなく撤廃すべきと考えるがどうか。

教育長 入園申し込み状況は、東市来幼稚園38人、飯



坂口 洋之 議員

質問1 連携都市圏構想計画の取り組み状況はどうか

【答弁1】 全体で24の連携事業、現在21事業を実施

坂口 鹿児島市を中心に連携中枢都市圏(日置市・いちき串木野市・始良市)構想計画が実施されている

が、現在の成果と課題は何か。

連携事業の病児保育の広域利用の協議状況はどうか。計画の中で鹿児島市の東京事務所を活用した4市の情報発信を行うとうたわれている。

東京事務所に3市(日置市・いちき串木野市・始良市)が連携し、職員を配置できないか。

市長 全体で24の連携事業、そのうち図書館の広域利用をはじめ、出会い・ふれあい運動会等が、交流人口の増につながっている。課題は、事業説明の中で、周辺地域の波及効果についての表現がわかりにくい。

針で定めており、撤廃は考えていない。

質問2 吹上浜海岸一帯の浜崖対策を

【答弁2】 県とも周辺自治体とも連携してみよう

牟礼幼稚園7人、土橋幼稚園6人、日吉小附属幼稚園6人となっている。3年保育を行うためには、現在の施設の状況に課題があると考える。幼稚園は義務教育ではないので一緒にできないが連携は継続していく。基準の15人は適正規模方

山口 吹上浜海岸一帯の浜崖が進み、ロープを伝ったりはしごをかけて行き来している。これ以上、浜崖を進ませないため、沖での海砂採りをやめさせるよう県に要求する考えはないか。

市長 海砂採取を禁止することは、公共事業などに多大な影響が予想され、代替材料へ計画的に移行し採取量の削減を図り、県や周辺自治体と連携する。

病児保育の広域利用については、実施施設の受入可否に併せて予算措置の協議を検討し、31年度に制度設計できればと考える。

東京事務所については、施策の中に職員の交流というものもあり、今後、協議になっていくと考える。

質問2 小中学校の教職員のメンタルヘルス対策は

【答弁2】 ストレスチェックと関係機関への相談

坂口 保護者対応や児童生徒の指導に悩む教職員は多い。どのような悩み、スト

スを感じているのか。相談体制、相談内容はどうようなものがあるのか。保護者からの過度な対応に悩む教職員も多い。

教育委員会として、保護者、教職員に対してどのような理解と協力を求めるか。

教育長 教職員の中には、子どもとの信頼関係を築けずに、児童生徒の反抗的な言動や、保護者からの過度な意見にストレスを感じている職員もいる。

管理職が直接相談に応じたり関係機関に相談を進めたりしている。保護者からの意見・要望は、担任が窓口になり相談に応じ、場合によって学年



外国人生活ガイドブック

来年度の市内公立幼稚園の入園申し込み状況(予定)

	4歳児	5歳児	計
東市来	12	26	38
飯牟礼	2	5	7
土橋	3	3	6
日吉小附属	※2	4	6
計	19	38	57

※：日吉小附属幼稚園の4歳児2人の入園許可は、市立幼稚園運営検討委員会の提言により、許可されていない。

その他の質問

- ・松くい虫防除の薬剤散布
- ・漁業法の改訂案
- ・脱原発
- ・外国人労働者問題
- ・消費税10%への増税

主任・管理職が対応する。教育委員会も相談を受ける。



学級運営や保護者対応・部活動指導にストレスを感じる教職員もいる



富迫 克彦 議員

質問 1
公共工事発注の平準化の現状は

【答弁1】 いろいろ工夫し平準化に取り組む

【富迫】 ①本年度の入札状況を見ると前年度からの繰越事業14件が9月以降に入札されているが、その理由

は。
②今年度、入札を辞退する、または棄権するケースが21%余りになっているが、その要因は。
③公共工事に係る発注見通し公表書で示された、入札予定時期との整合性はどうか。
④平成29年度の月別工種別入札状況を見た感想は。

市長 ①工程管理を徹底し早期の発注に努力する。
②辞退や棄権が増えつつある原因は分析していない。
③計画的な工事の発注に努める。
④年度当初、発注件数が少ない状況があることから市単独事業を早期発注する

質問 2
移住・定住促進、空き家対策の経済好循環

【答弁2】 住宅リフォーム支援事業補助金は本年度で終了

【富迫】 ①市外からの転入者を対象とした移住促進対策補助金、市内の転居者を対象とした定住促進対策補助金、空き家改修事業補助金、住宅リフォーム支援事業補助金の実績と評価は。
②来年度の国の概算要求で住宅の長寿命化を支援するとあるが、住宅リフォーム支援事業の継続はどうか。

市長 ①移住促進対策事業では7年間で156世帯、500人が転入、補助金として1億1060万円を支出。
定住促進対策事業では2年間で40世帯、164人が定住、補助金として1310万円を支出。
空き家改修事業では3年間で25件、1285万円、住宅リフォーム支援事業では6年間で760件、1億944万8千円を支出。
新築は市外業者の受注が多いが、それ以外では市内に一定の経済効果があった。
②国の動向もあるが、本年度で終了する。



本年度で終了する住宅リフォーム支援事業



田畑 純二 議員

質問 1
SDGsへの対応と日置市づくりは

【答弁1】 実施している事業がその推進につながる

【田畑】 ①SDGs(持続可能な開発目標)の取り組み、

推進は。
②SDGsの世界的動向と期待される地方自治体の役割への考え方は。
③日置市民を取り残さない社会を実現するため、SDGsをどう活用するか。
④企業とSDGsの関係のとらえ方と接し方は。
⑤市民がSDGsへの関

心を高め、統合的に取り組むための先導方法は。
市長 ①ひおき学等や再生可能エネルギー推進新産業創出等がある。
②総合戦略や総合計画の施策で推進が図られ、その計画を策定する自治体の役割は大変重要。

③総合戦略と総合計画の実施計画を着実に進めていくことで、その社会への推進が図られている。
④総合戦略や交流の場も活用し、引き続き連携を図りながらさまざまな地域課題に取り組んでいく。
⑤総合計画、総合戦略、その他各種計画を確実かつ

着実に進めることで、先導推進が図られる。

質問 2
本市内の所有者不明土地問題は

【答弁2】 相続登記や所有権登記問題で今後も増加

市長 ①所有者不明の調査はしていないが、固定資産税で247筆390haであり、今後も増加していくと考えられる。
②荒廃農地は1505筆約83ha、所有者不明は74筆約3・9haと判断。
③関係機関とも連携し、



日置市内の耕作放棄地



佐多 申至 議員

質問 1
アダプトプログラムの実績状況は

【答弁1】 地域の花壇づくり道路愛護作業もその一環

【佐多】 ①第一次環境基本計画で、公園や道路などの公共空間を里親として管理するアダプトプログラム制

度の創設を掲げているが、制度説明とその実績状況は。また、第二次計画策定への体制づくりは。
②江口浜海浜公園一帯の美しい景観を、国や県と協議して、どのように進めているのか。

市長 ①アダプトプログラムとは、道路・公園・河川等の公共施設等の空間の美化や保全のため、住民・事業者などで組織するボランティア団体が、その場所の里親となり環境美化活動に取り組みする制度である。当制度の一環として、地域住民による花壇づくりや道路愛護作業などの自治会活動、吹上浜クリーン作戦

質問 2
多様な人材創出に何が大事と考えるか

【答弁2】 学校PTAの活力を地域社会に活かしたい

【佐多】 ①日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略に

などが行われている。第二次計画は、策定委員会を組織し、知識豊富な15課17人の係長が委員を務め、委員相互の認識・連携を図り策定を検討する。
②江口蓬菜館等を含む江口浜一帯の有効活用は認識しており、来訪者の意見も十分拝聴し、観光も併せて国や県と協議していく。

市長 ①地域活動に協力的な人材は出てきてはいるが、全体的には少子化・過疎化を踏まえ、自治組織の中で本気に取り組む必要があると考えている。
②さまざまな研修も必要であり、PTA等の活力を地域社会に活かす、そこから人材育成を図ることも大事と考える。



江口浜一帯の観光も含めた有効利用を

③日置市の良さを磨き上げ、情報発信し続けることを皆で共有し、未来永劫持続できる行政に努める。

市民の願い・陳情のゆくえ

陳情第5号 日置市でもヘルプマークの配備と学校や地域におけるヘルプマークの周知の徹底を求める陳情書
【陳情者】東市来町養母 田丸沙織氏

全会一致で**一部採択**

※学校や地域におけるヘルプマークの周知の徹底を求める部分を採用。

陳情第6号 日置市立日吉小学校附属幼稚園の「休園措置の廃止」及び同園の「園児を増加させ、園継続につなげる為の三年保育の特別実施」を求める陳情書
【陳情者】日吉小学校附属幼稚園保護者会代表 松下由賀氏 保護者一同

20：1で**不採択**

討論

賛成

500人を超える署名を教育長に提出しており、日吉地域には日吉小附属幼稚園しか幼稚園はない。休園・廃園となれば、就学前教育の選択肢がなくなる。本市は、移住者政策も行っており、教育環境が住むための条件の一つになっている。保育充実のため3年保育も必要である。

反対

公立幼稚園適正等基本指針で2年続けて15人未満の場合、休園措置を実施される。日吉小附属幼稚園においては、平成26年度から12人・10人・7人・2人・30年度は5人であり、一定の集団規模による教育環境が必要である。休園措置を検討されたら、園児の増加も期待できず、募集も困難な状況に陥る可能性がある。伊集院北保育園も平成23年に廃園となった。

陳情第7号 情報通信環境（ブロードバンド環境、携帯電話の未受信地域解消）の整備促進を求める陳情書
【陳情者】上神殿自治会長 木下潮比呂氏・麦生田自治会長 新山幸生氏 中川自治会長 山下修三氏・上土橋自治会長 松尾みどり氏 竹之山自治会長 馬場園利信氏

全会一致で**採択**

陳情第8号 「日置市立幼稚園適正規模等基本方針」の人数要件の撤廃を求める陳情書
【陳情者】日置公立幼稚園の存続の会代表 田村香里氏 東市来幼稚園保護者会長 中道加代子氏・飯牟礼幼稚園保護者会長 山田奈緒美氏 土橋幼稚園保護者会長 山田真希子氏・日吉小附属幼稚園保護者会長 松下由賀氏

20：1で**不採択**

討論

賛成

出生数から考えると15人の人数基準には無理がある。就業前教育の選択の自由がそこなわれないように、子育て世代が住みやすく、一人一人の子どもを大切に育てる教育が求められている。

反対

公立幼稚園は、少子化・働く親の増加等で、年々児童数が減っており、一定の集団規模が必要である。平成23年、既に伊集院北幼稚園は市の制度により廃園となった。15人の基準は大きく緩和されたもので、その撤廃は子供の共同性と育ちを狭めると考える。



指定管理者の選定

東市来総合福祉センター	社会福祉法人 日置市社会福祉協議会	3年	1295万円	賛成20 反対1
日吉老人福祉センター 日吉ふれあいセンター 日吉デイサービスセンター	社会福祉法人 日置市社会福祉協議会	3年	5619万円	賛成20 反対1
江口蓬莱館	江口漁業協同組合	3年	820万円	賛成20 反対1
チェスト館	株式会社 チェスト館	3年	891万円	賛成20 反対1
城の下物産館	城の下物産館管理組合	3年	36万円	賛成20 反対1
ひまわり館	日置市農産物直売所 ひまわり館管理組合	3年	68万円	賛成20 反対1
山神の郷施設	山神の郷管理組合	3年	1845万円	賛成20 反対1

討論

反対

指定管理者制度は公的責任の放棄である。指定管理料に消費税が含まれていることも認められないため、同じ理由で7件とも反対。

賛成

指定管理者制度は効果的・効率的に対応するため、自治法改正で設けられた制度である。施設の特性を生かし、利用者ニーズに対応してきたため同じ理由で7件とも賛成。



まちのきまり 条例を一部改正しました。

議案番号	提案内容	
第75号	地域再生法の一部改正に伴う固定資産税の課税の特例を見直しました。	全会一致で可決
第76号	住吉地区公民館、日新地区公民館、吉利地区公民館を移転し、扇尾地区公民館の使用施設の範囲を見直しました。	全会一致で可決
第77号	チェスト館及び江口蓬莱館の利用率（販売手数料率）を見直しました。	全会一致で可決
第78号	長松川公園を都市公園としました。	全会一致で可決
第79号	市議会議員選挙において、選挙運動用ビラを配ることができるようになりました。	全会一致で可決
第90号	職員の給与に関する条例の一部を改正しました。	全会一致で可決
第91号	市長等や議員の報酬、期末手当等の条例の一部を改正しました。	賛成19 反対2

市民と議会の語る会

平成30年11月2日～8日

今回は、議員を4班に分け、伊集院・東市来・日吉・吹上地域の各PTA連絡協議会、高齢者クラブ連合吹上支部、日吉地域女性連絡協議会、東市来地域身体障がい者協会、伊集院地域民生委員・児童委員協議会と語る会を開催いたしました。

市民の皆様から頂いた
ご意見を一部紹介します。

・再来年の創立150周年記念に校旗を新調したいが、PTAの寄付だけでは無理であるので、支援してもらえないか。

・上市来小・中学校への進入路が一方通行であり、車一台しか通れないので、離合できるようなできないか状況調査をしてほしい。

・私立幼稚園や保育園は学童に取り組んでいるが、卒園生中心であり、入れないと困っている人がいるが、どうにかならないか。

・高齢者へのインフルエンザ予防接種助成はあるが、子どもへの助成はないのか。

・土橋校区の学区編成の見直しが早急にできないか。

・東市来地域では、特認校制度は実施できないか。



活発な意見がでたグループワーク

・公民館活動が、教育委員会から市長部局の地域づくり課になつてきている。公民館活動は、社会教育活動が本来の姿であり、社会教育法に則って行うべきと考える。

・新しい経営体での農業を進め、新規就農者を増やしたい。

・若い人たちを呼び込みたいが、住む場所を考えてほしい。教職員住宅等を売却できなく、賃貸にできないか。

・子どものかばんが重い。置き勉について、日置市の対策はないのか。

・日置市のすべてのイベントを洗い出し、精査してほしい。人工知能を使っておすすめをみたらどうか。

・キャンプ場跡地の整備をして欲しい。バンガローの撤去や看板

旧地図の案内など、観光客への配慮をすべきでは。

・広報ひおきは、行政用語が多いため、分かりやすい文章にしてほしい。



元気な女性の意見をいただきました

今回は、各種団体の皆さんと語る会を開催いたしました。沢山のご意見を頂き、ありがとうございます。市民の皆様の見解として、市政へ提言できるよう努力いたします。

所管事務
調査

総務企画常任委員会
平成30年11月7日

国民宿舎 吹上砂丘荘 健康交流館 ゆ〜ぷる吹上



築47年、老朽化により対応が求められるが

〔調査箇所〕 国民宿舎吹上砂丘荘

●運営状況

平成29年度の宿泊者数・レストラン利用者数は、8878人の減、事業収入は、対前年度比1803万円の減取である。隣接する吹上浜公園体育館に空調設備が整備され、今年7月から、利用者も増えている。

●主な質問

問 今年度中に、今後の方針を固めるとあるがどうか。

答 三役部長会を意見決定機関とし、ゆ〜ぷる吹上を含めた総合判断を行い、方向性を出す。

〔調査箇所〕 健康交流館ゆ〜ぷる吹上

●運営状況

平成29年度は、入浴・飲食・宿泊利用者数は、3059人の増、事業収入は、対前年度比68万円の減収である。高圧変電設備機器等や外部防水工事が行われた。

●主な質問

問 誘致状況は、

答 年間25大会を誘致し、11団体が継続的に利用。

〔まとめ〕

両施設とも、今後の維持補修費等を含め、職員の経営意識や管理運営の見直しを含めた経営全体の抑制、砂丘荘との経営統合化も見据えた検討が必要。

所管事務
調査

文教厚生常任委員会
平成30年10月18日

伊集院・東市来・日置南 学校給食センター

〔調査箇所〕 伊集院 東市来・日置南 学校給食センター

●運営状況

伊集院は築30年、5小学校・3中学校・2幼稚園で2554配食、職員は29人で給食費は、学校徴収である。

東市来も築30年、5小学校・2中学校・1幼稚園で1008配食、職員は22人で給食費は原則、自治会育成会での集金である。

日置南は、平成22年に建設、5小学校・2中学校で921配食、職員は22人である。

市全体でのアレルギー対応は、小学校36人・中学校13人である。

●主な質問

問 徴収方法について議論はないのか。

答 口座引き落としへの変更も検討中である。



おいしく、安全な給食

〔まとめ〕

伊集院・東市来も日置南給食センター同様、ドライ方式に改修すべきである。3箇所とも適正に管理運用されていたが、施設全体の老朽化や伊集院センターは手狭であり、将来的な在り方を検討すべきと考える。日置南給食センターは、施設面は良いが、職員の処遇改善が必要である。

吹上浜海岸線一帯の 環境保全

〔調査箇所〕

吹上浜の現状
吹上浜海岸線一帯
(江口漁港～吹上漁港)

近年では、台風や季節風等の高波などにより海岸線の浸食が激しく、消波ブロック等が沈下し本来の機能が失われている。

民家近くまで浸食が迫り、非常に危険な状況である。

また、飛砂や漂砂の影響で、吹上浜に流れる河川の河口が閉塞し、川の流れを大きく変えている。

松林は、砂防林としての役割を担っている。

飛砂による丘陵化などで、松林内の排水不良が起こり、松枯れが発生し、松くい虫等の被害とともに深刻な状況である。

● 主な課題

- ① 浸食による海岸の後退
- ② 砂堆積による河口閉塞
- ③ 浜崖の拡大と砂丘幅の縮小
- ④ 松林内の排水不良による松の立ち枯れ、松くい虫による松枯れ

〔まとめ〕

吹上浜一帯の環境保全は、国土保全の観点からも非常に重要な課題であり、早急に対策を講じたい。

本市のみならず、吹上浜海岸沿いの近隣自治体及び、国・県との連携により、一体的に管理改善が図られるよう国・県へ要望したいと考える。



民有地近くまで進む海岸浸食

平成31年度 第1回定例会 会期日程(案)

- ◆ 2月26日(火).....開 会
 - ◆ 3月 7日(木).....本 会
 - ◆ 3月14日(木)、15(金)、18(月).....一 般 質 問
 - ◆ 3月28日(木).....最終本会議、閉会
- ※日程は、都合により変更になる場合もありますので、ご了承ください。

第55号の表紙

ラン仲間とは、認知症になっても障がいを持って、安心して暮らし続けることのできる地域づくりを目指し、さまざまな立場の参加者が、オレンジ色のTシャツを着て、少しずつの距離でタスキをつなぎ、日本各地を縦断するイベントです。

これは、はじめの一步です。

地域に飛び込んでいくことに賛同していただいた参加者の皆さまに感謝しつつ今後も活動を継続していきます。

編集後記

凍てつく夜空を見上げる、思いだす曲がある。アメリカのポピュラーソングに、堀内敬三氏が作詞した冬の星座という曲だ。舞い立つオリオンや、さざめくスバル、無窮を指さす北斗の針、星々がものみな憩える地球を照らす。その歌詞の美しさに心が震える。

星々が平和な地球を照らす情景は、輝きとともに深い感情となつて心に迫る。ちっぽけな自分が仰ぎ見る冬の星座が、私を包む。ずっとずっと未来の間もこうやって同じ星空を仰ぎ見るのだろうか。

見上げた空は永久に美しくあつてほしいと願う。

(是枝)

《発行責任》

議長 並松 安文

《編集責任》

広報編集委員会

- 委員長 橋口 正人
- 副委員長 是枝 みゆき
- 委員 黒田 澄子
- 山口 政夫
- 佐多 申至
- 桃北 勇一